



和歌山城おもてなし忍者vs雑賀衆甲冑隊バスピン対決

6月24日・和歌山城二の丸広場和歌山市観光案内所前



▲軽やかな動きで圧倒する忍者たち 120708-03



▲甲冑は不利? 120708-04

忍者VS雑賀衆!?

障害者

や高齢者などの和歌山城観光をサポートする「和歌山城おもてなし向上事業」。

サポートする「和歌山城おもてなし向上事業」。サポートスタッフが忍者の格好をしていることから「おもてなし忍者」の愛称で親しまれている。その心優しい忍者たちがこのほど、戦国時代の鉄砲集団である雑賀衆に果たし状を渡した。しかも、その試合内容は和歌山発祥のスポーツ・バスケットピンポンだ。

和歌山城のPRとバスケットピンポンの普及を目指して企画された今回の対決。装束を着た「おもてなし忍者」と、甲冑を身にまとった「孫市の会」がラケットを持って戦うという光景が、観光客の注目を集めていた。

その名の通り、バスケットボールと卓球を合わせたようなこの競技。通常の4分の1の大きさ

の卓球台の両側に穴があり、その穴にボールを入れることで高得点が加算される。激戦の末、シングルスでは忍者が、ダブルスでは雑賀衆が勝利した。

雑賀衆甲冑隊の森下さんは「これからも機会を見つけて、忍者たちと和歌山を盛り上げていきたいです」とコメント。バスピンDEまちづくり実行委員会の前山代表は「今回、このような場所で開催できたことを大変うれしく思います。これからはバスピン大会を開催していきたいです」と意欲を見せた。また、城プロジェクトの川島代表は「これからは県内各地に呼び掛けて、和歌山城で対決していきたい。我こそは、と思われる団体からの連絡も待っています」と語った。